



がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第95号】

弥生に発つ

どんなに苦しい夜でも
必ず朝が来る
築立つ六年生に励ましを
新一年生に楽しさを



一年を

ふり返って

育友会長
松尾正敏

昨年の春、三小育友会会長を引き受けて一年が過ぎましたが、この間、何度学校に行ったのか思い出してみました。すぐに数えられる程度でした。聞き及びます

と、私が歴代で最も三小に出て来ない會長だそうです。要するに一番よくサボったと云うことでしょう。

ところで今日、育友会で取り組むべき種々の問題は数多く残っているのは事実です。しかし乍ら、地域の皆で考えなくてはならない大きな問題は、何とか今のところ出て来ていないようです。

このことは、目立ちませんが、学校に於ける先生方の地道な努力、育友会にあっては役員の人達初め、会員全体の

人々の協力と実践等、皆の力の結集の賜ではないでしょうか。

言うまでもなく、私達の共通の認識は、子供達の幸せのためには何を考え、何をすべきかという点であります。

ある時は厳しく、ある時はやさしく、又、時には子供と一緒に真剣に考える、そして何もしないでほうっておくことも必要でしょう。



今後、研修・参加・情報

の周知等の

育友会活動を

通じて、大人

同志が仲良く

し、正しく話し

合い何かに

打ち込む姿を見せることもまた大切なことです。

最後に、これからの三小育友会の組織について、會長・役員は従来のように、何となく決まるのではなく、自分がやってみたいという人が大いに活動出来るような受け皿作りも必要です。そのために、立候補制も考えてみるべきだと思います。會長には特にサボらない人が良いようです。

校長
松本直



教職40年

三小から始まり三小で終わる

—— 天の配剤に感謝 ——

飛行機の操縦早を握って大空を翔ておった手に、白いチヨークを持ち、教壇に立ってから早、四十年になります。

かつての美少年?も人生の節々を折り込んだ渋い顔になり、今、教職を去り、人生の大きな節目を迎えようとしております。

振り返って見ますと、昭和二十三年に第三小学校の新任教師として赴任し、教師としての第一歩を踏み出しました。

それから、五小、二小、深江小、大正小、四小、田平小、大正小と勤務し、再び第三小に帰って来ました。

戦後間も無い頃のわら草履下駄ばき、継ぎの入った服を着た子ども達の姿が、時の流れと共に、一流メーカーの服靴を身につけ、さっぱりとした身なりの子どもの姿に変わっております。豊かになった生活、それに豊かさからくる多様さをしみじみと感じております。

子ども達と一緒にあって、無我夢中で過ごした時代もありました。先輩から指導を受け、また、教えを乞う時もありました。多くの人達との出会いによって、教育の厳しさ、厳しさと優しさの調和、自己開発への努力、人の和の大切さ、思いやりの心などを学び、これらが、教職生活の信条となつて生きてきました。

多くの方々からの温かい励ましやご支援があったから、今日があるのだとつくづく思っております。人々との出会いに恵まれたこと。母校の第三小でつが無く教職を終わることが出来ることの幸せを天の配剤として感謝しております。

第三小学校での明るく元気な子ども達との交わりの中で、遠い昔に、この母校で学んだ者として、先輩から受け継いだ「三小魂」なるものを自分なりに思い起こして見ました。それは、活力(明るくて元気の下さ)、積極さ(物事に積極的に立ち向かっていく気力)、そして、仲間思い(先輩を敬い後輩を慈しむ心)を考へることが出来ます。かつてのシンボルであった「白山やま」はなくても、朝夕、眉山を見て育った子ども達に「三小魂」は育ち、受け継がれていくものと信じ期待しております。育友会の皆様には、大変お世話になりました。皆様方の熱心な活動に、汗を流しておられる姿に、子どもの幸せを願う親の心を感じます。温かいご支援・ご指導を心から感謝しております。第三小学校の発展と、育友

会の皆様方のご健勝をお祈りいたします。



育友会の

一年を省みて

副会長
佐々川和子



があります。それは、新年年度の役員選出の問題、役員の手がいない、PTAから逃れようとするへの参加が少なく、学級PTAの参加が少なく、学級PTAの参加が少ない、町内育友会活動への参加が少ない、父親授業参観の日曜日開催が中難しい等。三小育友会も、この辺でこれらの共通する諸問題を掘り下げて議論し、よい知恵を出し合って行かなければいけない時期にきている様に思います。

物が豊かで心が貧しくなっている今の世の中ほど、学校と親と地域が手をつなぎ、子供の健やかな成長を願って活動することが大切な気がします。

昨年十月、太陽寮の唐津先生の講演を聞きました折、「子は宝、宝ならしむるは親業の業なり」「親業は子供のためにしているのではなく、自分のためにしている」という言葉が、なぜか心に残りました。



私は、過去何回か県P大会に出席させていただきましたが、各分科会に参加してみますと、いつも問題になること

クラブ紹介

どのクラブも、一年間の思い出がいっぱい……。

バスケットクラブ



- ① 担当者 下田 和章先生
- ② 部長 山下 晃
- ③ 人数 四年…六名
五年…四名
六年…九名

④ 活動内容
パス、ドリブル、シュート等の基本練習をもとにして、学年のわくを越えたチームを作りゲームを行っている。

⑤ ルールも少しずつ覚えてきて、だんだんバスケットボールらしくなってきました。

イラストクラブ

- ① 担当者 吉田 恭子先生
- ② 部長 岩永 洋子
- ③ 人数 四年…三名
五年…十一人
六年…九人

④ 活動内容
七夕の絵、四コママンガポスター、洋服デザインカレンダー作りなど

⑤ 絵をかくのが大好きな仲間です。しゅらしマンガ家になりたいとか、画家になりたい。と夢をもっています。

ランドセルの中には、いつも絵かき帳を入れて、好きな絵が、ぎっしりかいてあるのですよ。



手芸クラブ



- ① 担当者 池田伊奈子先生
- ② 部長 丸山 尚子先生
- ③ 人数 福本 容子
四年…十人
五年…十二人
六年…六人

④ 活動内容
クッション作り・編み物袋作り

⑤ 手芸を好きな人ばかりなので、自分が考えたアイディアですてきな物ができています。みんな熱心に作品に取り組んでいます。

フリーテニスクラブ

- ① 担当者 松尾由美子先生
- ② 部長 中村 清美
- ③ 人数 六年…五名
五年…六名
四年…七名

④ 活動内容
一学期、打ち方を覚え、ラリーができるようになる。

⑤ 二学期「ゲームをする。三学期」ゲームができるよ決めて、ゲームができるよ

うになっています。少人数で、仲よくがんばってほしいと思っています。

ソフトボールクラブ



- ① 担当者 稲栄 浩保先生
- ② 部長 三丸 和明先生
- ③ 人数 迎 智博
四年…十三名
五年…十二名
六年…十六名

④ 活動内容
ゲームを中心にして、ルールを覚えたり、技術を高めたりする。又、学年を越えて仲良くなれるようにする。

⑤ コメント
四十一名という大家族ですが、なぜか男ばかりです。フアイトある女子も歓迎です。



卓球クラブ

- ① 担当者 野口 仁子先生
- ② 部長 多田 真澄先生
- ③ 人数 荒木テルヨ先生
本多 康弘
六年…三名
五年…九名
四年…二名



④ 活動内容
自分達で審判をし、ゲームのルールを正しく守りながら、四年生から六年生まで、対戦手を替えて、シングルスやダブルスで、試合をします。

⑤ 現在、卓球台が四台しかないため、部員は十四名に絞りました。ゲームを楽しむと共に卓球台の出し方、ネットの張り方、後片付けもきちんとできるように練習しています。

来年度も、それぞれのクラブ、活躍してください。

講演会に思う

教養部
熊本勇治

二月二十七日、長崎大学教育学部心理学教室の宮崎正明先生を講師に迎え、「子どもの行動と心理」「子どもの心が見えますか」の演題で、教育講演会を行いました。当日の出席者は百二十七名、校区外からも多く参加していただきました。

講演の内容は、「子どもの心の見方」「遊びと勉強」「伸ばすためのほめ方しかり方」それに「親の養育態度と子どもの問題行動」など、いつも感心をもっているような内容ですが、先生の説明をおききすると、親として反省するようなことばかりでした。

私達親は、学校を卒業して約二十年、そのころの教育はたいては親の言うことはまちがっていても従わなければならぬ時代のようにした。私もすぐ子供をたたき、大きな声でどなったりもしました。それをやった後は、自分も反省し、あの時の講演会の時はお話し合ひをやり、人格をきず

つけないようにとか聞いてきますが、なかなか実行できません。

会員の方も積極的に育友会活動（講演会）に多く出席され、子供と遊び、親も勉強され、子供を育てられたらどうでしょうか。



一年を振りかえって

環境整備部
相良耕作

昨年四月に環境部長になって、早一年経って終ろうとしております。これといって皆様方のお役に立てなかったのではと申し訳なく思っております。しかしながら、皆様の絶大なる御協力のもとに、年頭の事業計画を無事過すことが出来ました。

七月のプール除草作業、ゴミ缶製作は、暑い中沢山の会員と先生方の参加を頂いて早く綺麗に整備することが出来

ました。

八月の土俵整備のときに、体育倉庫横の土砂撤去作業は、手作業でしようと言うことで計画して居ましたが、とても手に負えるものではないと断念し、先日、会員の榊相互の中野末喜氏に会長よりお願いして頂いたところ、快く引き受けて下さり、シャベルカーでトラック七台分の土砂を撤去していただき、体育倉庫の横も何年かぶりにすっきりいたしました。これも中野氏の御協力によるものと紙上を借りまして御礼申し上げます。以上で事業を全て終了出来ました。有難うございました。



一年を省みて

体育部
高見利則

今年度体育部で計画しておりましたのは、次のとおりでした。

- (一)六月・フットベースボール説明会
- (二)七月・子供クラブ町内対抗球技大会
- (三)八月・土俵整備
- (四)九月・親子スポーツの日
- (五)九月・運動会参加
- (六)十一月・町内対抗バレーボール大会

私自身と致しましては、三小育友会会員に加わり、毎年ルール説明会に出席致しておりましたので、今年度は？と思案しておりましたところ、町内代議員の方々から強い要望があり、開催致しましたところ、多数の参加者があり、いろいろと御意見もでて、本年度からフットベースボール大会を三小ルールで開催する事になりました。

次に、子どもクラブ町内対抗球技大会には、全町内参加され、多数の方々の協力の基に無事終了する事ができありがとうございました。

親子スポーツの日は、朝から小雨にて皆様には御迷惑を

おかけ致しました。

運動会参加については、町内訪問でいろいろな御意見がでて、リレーから綱引き大会に変更致しましたところ、終了後、やはりリレーの方が良いとの意見もあり、心残りでした。

町内対抗バレーボール大会では、Aパート崩山A、Bパートみなと、Cパート崩山Bの成績で無事終了致しました。私も、三小最後の育友会活動を無事終了する事が出来たのは、会員皆様の御協力のたまものと深く感謝し、お礼申し上げます。



生活部の一年

生活部

吉田 則 正

生活部は、三人の先生と育友会二十九名でスタートしました。最初の行事は、五月三十日と六月十三日まで生活標語募集をし約三五〇部の応募があり、その中から各町内から四部を選択配布しました。

例年、学校側にお願ひし、標語を書いてもらっていましたが、今年度は育友会で製作し(副会長の佐々川さん、学級部副部長の前田さんにお願ひしました)好評でした。

七月二十七日と八月三日まで町内訪問を実施しました。その節は先生方、育友会の皆様、暑い中御協力有難うございました。

各町内の議題と共通議題三項目を討論していただき、問題点多少あり、関連専門部に御協力をお願いし改善しつつあります。

各町内の要望を全部達成出来なかつた事、大変残念ですが、毎年ひとつでも改善される事を期待する次第です。

三月三日と三月十日まで、島原名物初市が開催されました。子供達の非行防止の為、

常任委員の方と巡視を致しました。

以上が生活部年間報告です。一年間、学校側・育友会の皆様の御協力誠に有難うございました。

交通部の一年を省みて

交通部

川口 克 樹

交通部の一年間の行事は、五の日の交通指導、六月・自転車点検、通学路の点検と三つの事を行いました。当初、計画していた自転車の正しい乗り方、自転車広場は日程の都合により実行できませんでした。

今年度特に力を入れた事は、通学路の見直しでした。これは、夏休みの生活指導の際、生活部の協力で各町内より要望を出して頂き、問題点を交通部でまとめました。そして現場の写真を撮り、文書を添えて松尾会長に同行して頂き、市役所を訪ね市長に嘆願致しました。鐘ヶ江市長及び建設課長より「なるべく早い時期に対処する」と言う答えを頂きました。

又、踏み切りの件は、島鉄本社にお願ひし、さっそく整

備して頂きました。

このように最後まで処理できたのは、担当の先生方の御理解と御協力があったからだと感謝致しております。それから、部員の皆様御協力ありがとうございました。

一年を省みて

保健給食部

松崎 由美子

春の訪れと共に、今年度の育友会行事も終了致します。保健給食部の主な行事は次の通りです。

六月十二日、教養部と研修旅行として北九州コココーラ工場見学。

六月十七日、給食試食会、出席三十七名。これは、献立の選択(給食ならではの献立の日にする)とか、親子試食会などを考慮してみることで、もっと出席も増えるのでは、八月三十日、土俵整備の際の炊き出し。

十一月十二日、市保健婦の中島さんを講師にお招きし、「子供の健康と食生活」という題で講演会、出席六十七名。御自身の家庭での体験談やスライドを交え、ふれ合いのある食卓を通して、家庭での教育を回復すべきであるという

ことと、家族の健康は母親の腕次第ということをお話していただきました。

以上ですが、部としてはもつと部会を開き、話し合う必要があったと反省しています。次年度の方へ今年至らなかつたことを託しながら、この一年間御協力下さいました皆様へお礼申し上げます。



学級部の一年

学級部

前田 清 徳

長いようで、やはり長いこの一年間でした。学級部の主な行事活動といたしましては、

- (一)町内、学級代議員の研修会
- (二)学級対抗ミニバレーボール
- (三)父(母)親授業参観

以上ですが、反省を述べてみますと、(一)は町内と学級は別にした方が講師の先生も話しがしやすかつたのではないかと気が致しました。(二)は初めての試みでしたが、ケガ人もなく好評だったので、二年生の元気のいい応援が印象に残っています。(三)につきましては、授業参観の時はかなりの父親が出席されましたが、参観後は少なくなつたようです。

一年生の場合、授業参観後映画会を行い、その後話し合いをされた事などは、意義のある学級育友会の取り組み方だと思えます。父親参観は、日曜日にしてほしいという意見もあつたようです。いずれにいたしましても、忙しい中、学級部の諸行事に御協力・御指導頂きました代議員、諸先生方、本当に有りがとうございました。



六年生のみなさん

おめでとう

一年二組

塩崎

愛

六年生のおにいちゃん、おねえちゃん、そつぎようおめでどうございませう。しゅうだんとうころの時、いつもわたしたちをまつててくれてありがとうございます。

えんそくの時、行くときも帰る時もおもしろいおはなしとか、おもしろい歌とかおしえてくれてありがとうございます。とても、たのしかったです。うんどうかいの時、いっしょにおうえんの歌を歌って、とてもたのしかったです。

おねえちゃんたちが中学校に行くとき、しゅうだんとうころがさみしくなります。おにいちゃん、おねえちゃんたちが、何でもおしえてくれたから、いっばい思い出になりました。おにいちゃん、おねえちゃんたちも中学生になって思い出をいっばい作ってください。いっばいあつまったらきかせてください。

おにいちゃん、おねえちゃんもがんばってください。わたしたちもがんばります。



二年一組
小島 慶子

六年生のお兄さん・お姉さん、ごそつぎようおめでどうございませう。私たちが三年生になるころ、お兄さん・お姉さんとは、もういないのかと思うとさびしくなります。楽しい思い出をありがとうございます。

二年二組
津田 健治

六年生のみなさん、いいん会で学校ぜんたいのおせわをはじめ、しゅうだんとうころのおせわなど、いろいろありがとうございませう。中学生になっても、三小のことをわすれないでください。

二年三組
宮田 和美

わたしは、六年生のことば、うんどう会のことが一番おもいでになりました。六年生の人とは、とても足がはやかっただけでびっくりしました。六年生の人とは、中学生になっても何でもがんばってください。

二年四組
米田 しげき

六年生のみなさん、そつぎようおめでどう。中学生になるとむずかしいペンきようやエイゴが出てきますね。アメリカに行っても、しゃべりきるように、しっかりとがんばってください。

六年生

がんばって

三年一組

吉田 智子

六年生のおにいさん、おねえさんそつぎようおめでどうございませう。小学生のおもいではたくさんあります。

おにいさんは、学生服がよくにあって、そしておねえさんは、セーラー服がよくにあうすてきな中学生になってください。

これからも、三小のみんなのことをわすれないで、勉強やスポーツをがんばってください。

ありがとう

六年生

三年三組

平田 亜紀子

六年生のみなさん、そつぎようおめでどうございませう。私たちが下級生のために、いろいろな事をしてくださいました。運動会のおうえん、おもしろかったです。毎日の校内放送や年がじよの配たつありがとうございませう。おかげで、私たちは、楽しく学校へ来ることができました。本当にありがとうございます。

中学生になっても、いっつもでも、わたしたちのいいお兄さん、お姉さんでいてください。

六年生のみなさん

おめでとう

四年一組

本多 由佳

六年生のみなさん、卒業おめでどうございませう。わたしたちは、六年生と四年間いっしょに三小ですごしました。とくに今年、クラブでお世話になりました。わからなかったことや、できなかったことを、親切に教えてくださいます。

また、親切に教えてくださいます。集団登校の時、小さい一年生の世話、たいへんだったでしょう。小学校生活の思い出をわすれず、中学校にいってもがんばってください。

六年生のみなさんへ

みなさんへ

四年三組

東 沙織

六年生のみなさん、いままでお世話をしてくださってありがとうございます。六年生がしてくれましたので、とてもおもしろい行事をたくさん楽しむことができました。

わたしたちは何も六年生にしてやることはできなかったけど、一年から六年になるまでの遠足やクラブやお別れ会などをいい思い出にしてください。

さい。中学生になっても、元気で、勉強やスポーツをがんばってください。

すばらしい感動

ありがとう

五年一組

大平 敬子

六年生の人達との思い出、それは心に残る思い出ばかりです。その数々の思い出の中で、私の胸に強烈に残ったのは、運動会のことでした。五年生は、運動会でお世話を受けもち、下級生のお世話をして、六年生の人達は、色々と活躍してくれました。

また、応援の時、六年生の人達は私達にすばらしい姿を見せてくれました。それは、裸足になり、汗を流しながら応援をしてくれたことです。声のかれる応援団長もいました。一生けん命応援をしている六年生の人達を見て、イヤイヤながらやっていたら、こんなにすばらしい姿、感動的なシーンは見られないだろう。そう私は思うと、すばらしい六年生で良かったなど、安心しました。

六年生の人達の活躍は、運動会が輝いていたと、私は思います。すばらしい思い出をくれた六年生。ありがとうございます。おめでどう。

六年間の思い出

修学旅行の思い出

六年一組 川北 尚道

ぼくは、遠足、運動会、修学旅行などの学校の行事で一番思い出に残った事は修学旅行です。友達と修学旅行に持って行くおかしを、いっしょに買いに行ったり、バスや船に乗って行ったり、プラネタリウムで星を見たり、動物園で虎を見たり、熊本城を見学したり、ホテルでおみやげを買ったり、部室で友達といろんな事をしたりして遊びました。ぼくは、この思い出を胸にいだいて中学校へ、進みたいと思います。

楽しかった修学旅行

六年一組 下田規洋子

この六年間、いろいろなことが、ありました。その中で、一番たのしかったのは、修学旅行です。バスの中で歌を歌ったり、熊本城や、テレビ局などの見学をしたり、部屋でテレビを見たりした。そして、友達と夜おそくまで、語りあって、

先生におこられたこともあり、それも、よい思い出です。また、六年生みんなまで修学旅行にいきたいです。ほんとうに、この六年間、とっても楽しかったです。

普賢登山の思い出

六年二組 八並 麻子

六年間の中で一番の思い出といえば秋の遠足で普賢登山をしたことです。始めはあまりきつくなかったけれども後から、だんだんきつくなつて足が痛くなりました。最初しゃべっていた人も少しずつ声が小さくなり静かになりました。頂上に着いた時は、ふきぬける風がすずしくて気持ちよかったです。それに、最後までクラス全員が登れてとてもうれしく思いました。この六年間で一番心に強く残っています。

交流学習

六年二組 前田 麻美

私の六年間の思い出は、交流学習です。最初は、どんな人に会えるのかドキドキしてました。体育館に入ったとき一人の男の子が、あごを自分のげんこつでたたいているのを見てかわいそうに思いました。私の身近にこんなかわいそうな人がいたということを知り初めて教えられました。私は、交流学習をしてみると、ゲームをしたりなかなくなったりしたことがよかったです。これからは、まわりの方の気持ちを考えていきたいと思います。

「思い出 おとまり会」

六年三組 川本 峰子

下川尻公民館で、「六の三思いでおとまり会」がありました。プールやゲームや花火、クレーンや電気の使いすぎで停電したときなど大さわぎしました。お母さんたちが作ってくださったカレーライスがとってもおいしくて今でも味を覚えてます。夜、ねようとしておみんながとなりとしゃべってお母さんたちからおこられたのも忘れられません。

一泊二日の修学旅行

六年四組 井上 智代

うれしいこと悲しいこといろいろあった六年間。やはり一番の思い出は修学旅行だ。友達と部屋に遊びに行き、夜おそくまで起きていた一夜。たった一夜だけだったけれどとても楽しかった。

六年間の中で卒業間近の今が一番いそがしく一番楽しい。でももう少しで卒業。卒業までやりたいことがたくさんある。そして今までのようにこのクラスのみんなといつまでも友達でいたい。

ソフトボールの思い出

六年四組 迎 智博

ぼくはこの小学校の六年間で楽しいことや、つらいことがいろいろあったけど、一番印象に残ったのは、やはりソフトボールです。ソフトボールをして、だいぶん友達がふえました。礼儀も覚えました。それから、一番反省することとは勉強です。四年生までは成績が良かったけど、五、六年になって急に成績が落ちました。ぼくはこれではいけないと思います。中学生になったら勉強や運動にもっとがんばりたいと思います。



小体連百メートル走

六年三組 岩本 美和

ブレゼント交かんで当たった消しゴムとともにこの思い出を大切に残したいです。

私は六年生の小体連が心に残っています。選手に選ばれ本当は幅とびをしたいなあと思っていました。出るから走に決まりました。出るからには優勝しよう。毎日放課後スタートの練習、走る練習をくたくたになるまでしました。小体連の日。第二カーブまで一位でしたが、ほっとしたしゅん間ぬかされてしまい二位でゴールしました。その時のくやしきは今でも忘れられません。でもいい思い出です。

がんばるマン・コーナー

やる気を出せ!

「みなと」少年ソフト チームを見てみる



後列左端が児玉監督

例え子供の数が少なくとも、今のみなとを見たら、本当に感心させられます。

チームに二人の女子を入れ、今年市内の大会で優勝すること三度。輝かしい実績の陰には、十五年間、毎日放課後と余暇を通じての練習の賜ものがうかがえます。

時代の流れと共に指導者も変わり、現在、児玉勝利さんが電気工事商売のかたわら、監督として熱心に指導。

「まず、礼儀正しい子供であること。チームプレーの中から相手を思いやる協調性が育つこと。そして、心を一つにして大きな相手に立ち向う勇氣と決断力を養うこと。」この口調には説得力があります。

初対面の人は、この方の厳しいところに圧倒されがちですが、実はこまかいところに気のまわる心やさしい人柄の苦勞人です。

そのことは、現在ソフトのコーチで率先垂範の岩本康成君(高三)、彼は「みなと」のOBでありながら、チームを憂う指導者のよきパートナーであることが物語っています。やれば出来る。常任委員の五年間、副会長として一年間本当にご苦勞様でした。

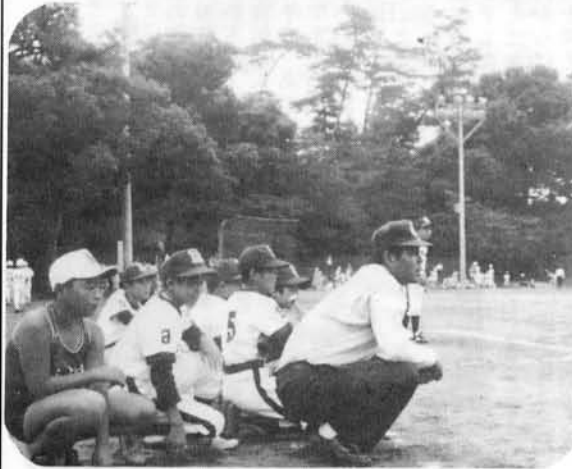
かつてのスラッガー 高見さん

皆さんご存知、体育部長の高見利則さん、南川尻の子供達の健全育成を心から願ひ、三小育友会をリードして来た有言実行型の育友会員さん。

かつては、島原のソフトのスラッガーとして県下に名をはせた代表的な選手だったこの方も、今はもっぱら子供達のよき指導者です。

少年ソフトの監督六年、コーチを含めると実に十年。その間、育友会の常任委員五年。既に中学校の育友会で活躍中であります。

持ち前の熱意と大きな声で、地域のため、子供達の健全育成のため、各方面でのご活躍をお祈りします。



子供を引っぱる高見さん



3年生「裸の王様」

六年間大変お世話になりました

去る三月十二日、お世話になった六年生に対して、在校生の一年生から五年生の生徒達が、感謝とお別れの気持ちをおこめて、「六年生を送る会」を催しました。

いずれの出し物も、日頃の練習の成果が実を結んだ傑作ばかりで、心温まる楽しいひとときでした。

六年生諸君!!

後に続く後輩達の真心を胸に立派に巣立って下さい。